

平成27年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の開催

地域防災室

8月5日から7日に「平成27年度少年消防クラブ交流会（全国大会）」が徳島県で開催され、全国各地の少年消防クラブ45クラブ（クラブ員245名、指導者76名、合計321名）が参加しました。

少年消防クラブ交流会は、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、地元消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手育成に資することを目的として、消防庁が平成24年度から実施しているものです。

※少年消防クラブとは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、青少年で結成されている組織で、平成26年5月1日現在、全国に約4,500の少年消防クラブがあり、約42万人のクラブ員が活動しています。

交流会の1日目は、クラブ紹介や地元芸能鑑賞を行いました。普段あまり知る機会がない他のクラブの活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。終盤では、地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についての御指導をいただき、参加者全員で阿波踊りを体験しました。

2日目は、徳島県消防学校において、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送やロープの結索などを取り入れた競技式の訓練をクラブ対抗により行いました。参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果を発揮するよう一生懸命取り組んでいました。



合同訓練の様子

その後、美馬市にある体育館施設において、避難所体験として段ボールハウス作りを行いました。段ボールを使用してグループごとに区画を作り、床の上にマットを敷いた寝床で就寝をしました。



避難所体験の様子

夕食は、美馬市婦人防火クラブの方に御協力いただき、災害時を想定した炊飯によるカレーライスと豚汁を美味しくいただきました。

最終日の3日目には、徳島県美馬市消防団の方々から消防団に入った経緯や消防団の活動についての話をお聞きすることで、消防団について理解を深めていきました。また、先日行われましたヨーロッパ青少年消防オリンピックに出場した地元クラブのうずしお少年少女消防クラブのクラブ員も参加し、現地での活動報告をしていただきました。

今回、参加した少年消防クラブ員の皆さんには、この交流会3日間での体験を活かし、地元に戻ってから少年消防クラブ活動にさらに励んでいただき、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室 山野、荒木
TEL：03-5253-7561